

飯山市第5次行財政改革大綱
骨子（案）

平成26年5月

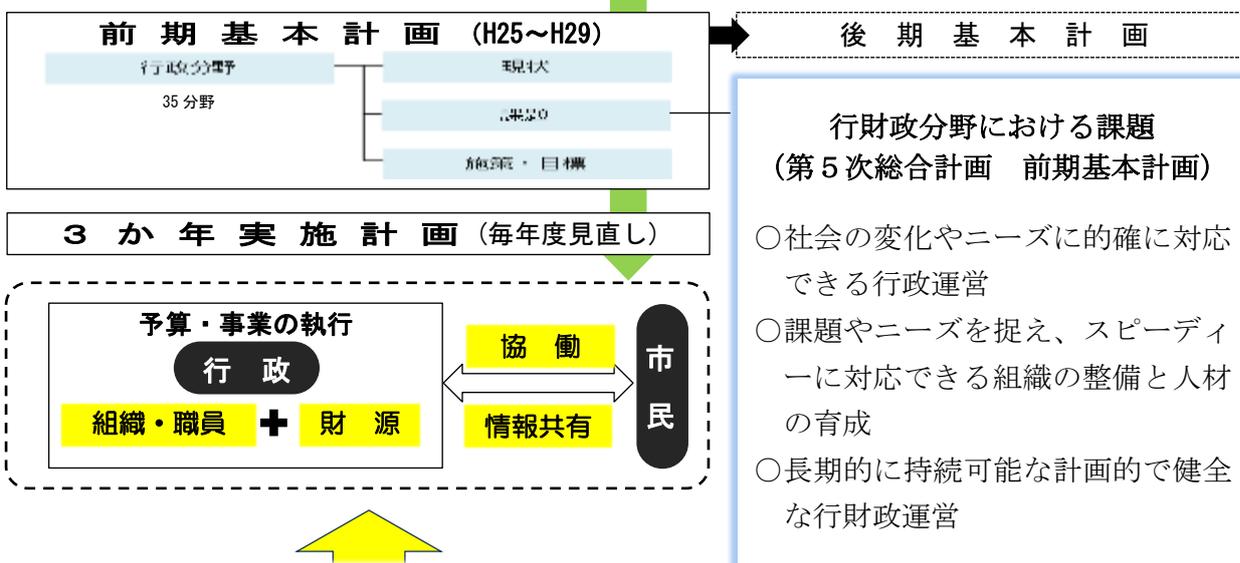
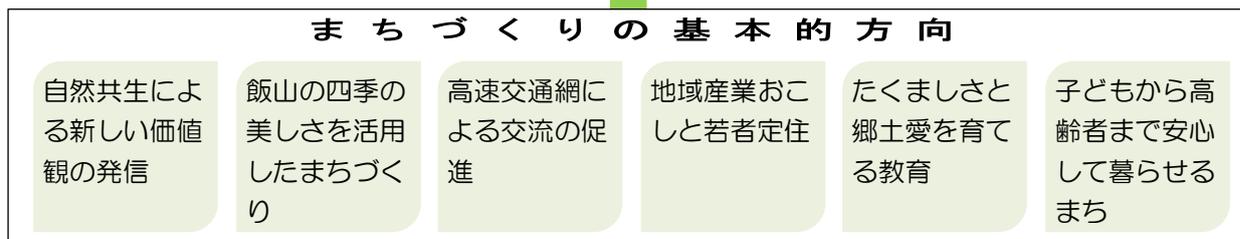
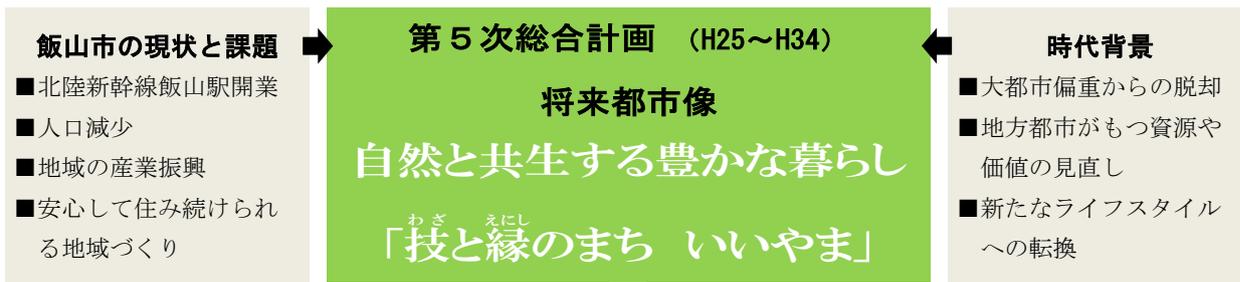
飯 山 市

1 第5次総合計画の推進と行財政改革の意義

我が国の社会経済情勢が急激に変化する中、飯山市も今まさに北陸新幹線飯山駅開業という大きな変革の時期を迎えようとしています。北陸新幹線飯山駅開業は飯山市の長年の悲願であり、開業に寄せる期待は大きいものの市政を取り巻く状況は依然として厳しい状況が続いています。人口減少と少子高齢化が進行する中で北陸新幹線飯山駅開業のメリットを最大限に引き出し、地域の産業振興に結び付けることができるか、それとともに誰もが安心して住み続けられる地域づくりをいかに継続・発展させていくかが大きな課題です。

平成25年度から平成34年度までの10年間を計画期間とする飯山市第5次総合計画では、時代背景や課題を整理したうえで、「自然と共生する豊かな暮らし わざ えにし 技と縁のまち いいやま」を将来都市像として掲げ、北陸新幹線飯山駅開業後の飯山市のまちづくりの基本的方向性を示し、行政分野ごとの施策や目標、具体的な取組等を定めています。

第5次総合計画の将来都市像の実現に向けて、計画の理念や基本的方向を市民の皆様と共有しながら行政としての課題をしっかりと捉え、計画を着実に推進できる行財政運営基盤確立のための更なる改革を進めていかなければなりません。



第5次行財政改革大綱に基づく改革の推進

第5次総合計画の実行と行財政改革の必要性

北陸新幹線飯山駅開業をはじめとした本市を取り巻く環境の変化や諸課題に対応しつつ、飯山市第5次総合計画の将来都市像の実現に向けて、限りある資源（財源・人材）を効率的・効果的に配分することにより、行政としての役割を果たしていかねばなりません。 効率的で質の高い組織・職員体制や厳しい経済情勢においても安定して運営できる財政力等、新たな時代にふさわしい、持続的で自立した質の高い自治体経営を一層進めていくことが必要です。

2 行財政改革の目標及び基本方針

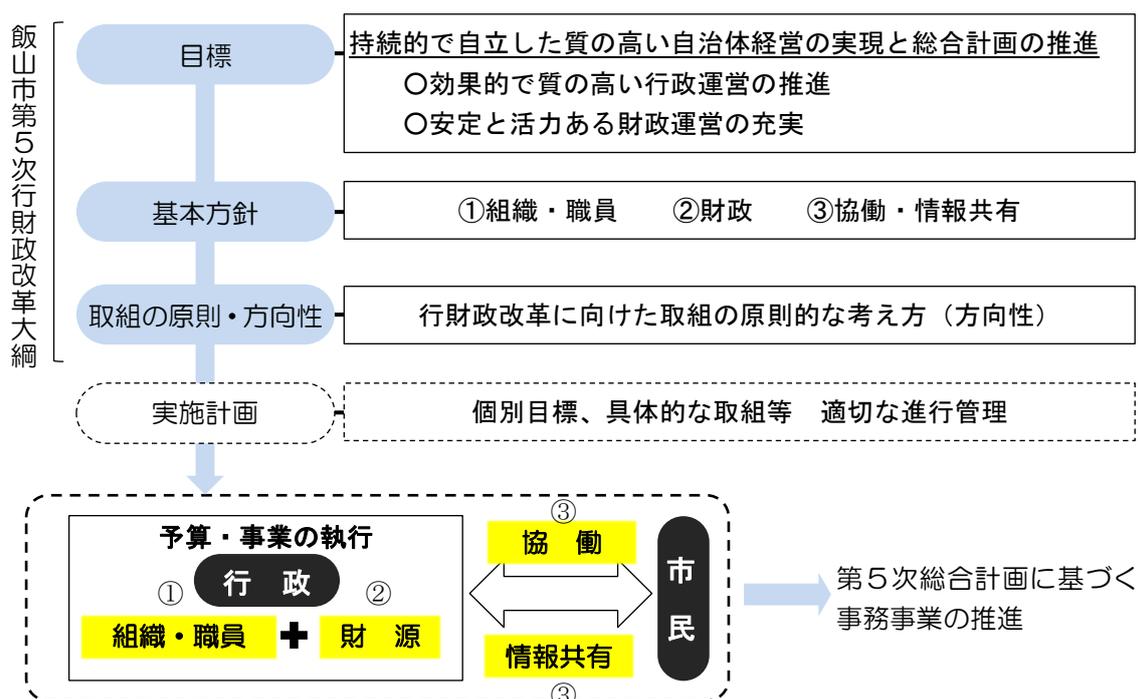
(1) 目標（第5次総合計画推進のための行財政改革）

- | | |
|------------------|--|
| ○効果的で質の高い行政運営の推進 | } 持続的で自立した質の高い自治体経営を実現し、第5次総合計画の推進を図る。 |
| ○安定と活力ある財政運営の充実 | |

北陸新幹線飯山駅開業後の飯山市のまちづくりにとって、新幹線飯山駅開業のメリットを最大限引き出し、産業振興や移住定住の推進、安心して住み続けられる地域づくりに結び付けることが重要である。

社会情勢の変化、財政状況等をしっかりと見極めながら第5次総合計画の着実な実施のため、限られた資源（財源、人材等）で最大限の効果を発揮し、効率的で質の高い行政運営を進める。また、財政基盤の安定化を図り、活力ある行政サービスの提供に向けた質の改革と量の改革を並行して進める必要がある。

【飯山市第5次行財政改革大綱の構成】



(2) 基本方針

- ① 効率的な行政組織体制の構築（組織・職員づくり）
- ② 長期的視点に立った持続可能な財政改革の推進（財政の健全化・安定化）
- ③ 開かれた行政の推進（協働・情報共有）

① 効率的な行政組織体制の構築（組織・職員づくり）

- 多様化・専門化する行政需要や行政課題に迅速に対処できる簡素で効率的な組織体制の構築（職員定数・職員配置）
- 人材育成と目標管理（人事評価・研修）
- 改革意欲の高い活気ある組織風土づくり、事務改善活動の推進
-
-
-

② 長期的視点に立った持続可能な財政改革の推進（財政の健全化・安定化）

- 事務事業評価を通じたニーズや行政課題を的確に捉えた事務事業の計画的な執行（外部評価制度の確立）
- 市有資産の効率的な管理と活用（公共施設の長寿命化等）
- 人口、社会情勢の変化を見据えた公共施設等のあり方の見直し（必要性、機能、運営手法等の検討）
- 新たな歳入確保への取組（ふるさと納税制度等）
- 適正な債権管理と受益者負担の最適化
-
-
-

③ **開かれた行政の推進（協働・情報共有）**

- 市民との積極的な情報交換（意見公募、審議会委員の公募等）
- まちづくりの目標や課題の共有（行政懇談会等）
- 地域の自主的な活動の支援と地域力の継続的な維持・強化（集落活動支援）
- 市民と市の役割分担の見直しと連携の強化
-
-
-